

「北薩地域 地域振興の取組方針」見直しに係る主な意見

- 第1回「北薩地域 地域振興の取組方針」の見直しに係る地域懇談会（7/25開催）
- 令和4年度第1回北薩地域選出県議会議員との意見交換会（8/2開催）
- 令和4年度第1回北薩地域振興に関する研究会（振興局等及び管内市町の若手職員による研究会）（8/17開催）

1 誰もが健康で活躍できる地域社会づくり

項目		意見内容等
(1) 誰もが個性と能力を発揮し活躍できる地域社会の実現		1 民生委員として、何十年も地域の産業を支えてくれた高齢者や障害者を支えている。そういう人たちが、皆仲良く過ごせる地域になれば良い。 2 発達障害児などを地域で雇用できる体制（農福連携、林福連携）が必要である。 3 複数の農家が共同で外国人技能実習生を受け入れる際の住居確保の助成等も検討が必要である。 4 若い世代の転出超過の原因の一つとして、固定的役割分担意識や地域のしきたりと慣習が嫌になって都会へ出て行く方もいる。
(2) 妊娠・出産、子育ての希望がかなう地域社会の実現		5 出生数の減少に伴い保育所を減らしてしまうと、子どもを預かることが出来ない状況になるので、子育て世代が安心して子どもを預けられて、仕事ができるような仕組みが必要である。 6 子どもたちが、変わっていく力、何かを生み出す力、地域を住みやすい環境に変えていける力、そういう力を持った子どもたちを育てていきたい。
(3) 健康で長生きできる地域社会の実現と良質な医療・介護の確保	ア 健康づくりの推進	7 働くためには健康が第一である。仕事に集中するためには、やはり健康を保持する必要があるが、企業もそういう面で配慮していかなければならない。 8 農業従事者も高齢化しており、高齢による事故も増えている。健康面を大事にするため、健康診断などを推進していくことも必要なのではないか。
	イ 安心・安全な医療の提供	9 北薩地域の医療体制は、医療資源の数も全然足りていない。特に急性期。専門的な医療を行える病院が少ない。そしてそこで働く人々、医師、看護師、介護士、他職種、全く足りていない。 10 離島医療が課題になっているが、ICTを活用したオンライン診療であったり、顔の見える医療福祉としての基本診療をミックスさせながら、連携できるパートナーづくりを進められたら、いい暮らし方をやっていけるのではないか。
	ウ 安心して暮らせる地域社会づくり	11 限られた医療資源を有効に活かして、それぞれにあったサービスを提供するには、連携をとっていかなければならない。逆に人が少ない分、連携や顔の見える関係というものが作りやすく構築しやすい。 12 平均寿命は伸びているが、健康寿命を伸ばす取組が必要である。 13 福祉・介護分野においてマンパワーが不足しており、人員確保について、処遇改善に向けた取組や資格取得における助成等の方策の検討が必要である。 14 認知症の一人暮らしに対して地域で見守りがなかなかできず、病院や介護施設のベッド数も不足している。

2 ポテンシャルのある北薩地域の「稼ぐ力」の向上

項目		意見内容等
(1) 農林水産業の「稼ぐ力」の向上	ア 人づくりの強化	1 後継者不足，農業従事者の高齢化が感じられる。耕作放棄地の増加，鳥獣被害等課題も増えている。
	イ 生産・加工体制の強化，付加価値の向上	<p>(7) 農業</p> <p>2 魅力ある農業となるには一定の収益が必要であり，そのようになってほしい。</p> <p>3 北薩は食の宝庫。今あるものを伸ばしつつ，新たなものを生産する考えを持つ必要がある。</p> <p>4 耕作放棄地は，中間管理機構を使いながら農地集積に関する取組を進めていくことが必要である。</p> <p>5 薩摩川内市は耕作放棄地が多い。耕作放棄地については，県，市町一体で対策に取り組むべきである。</p> <p>6 水産業，農業ともに，飼料代等の高騰が大きな課題である。</p> <p>7 畜産の中でも鶏卵，ブロイラーが強いので，養鶏業のPRも必要ではないか。</p>
		<p>(イ) 林業</p> <p>8 北薩地域は再造林率が低く，山が切られ災害の恐れがあり，景観も良くない。</p> <p>9 竹紙の利用促進や畜産での活用など竹材の利用については，この地域の特色ある資源として活かしていくべきである。</p>
		<p>(ウ) 水産業</p> <p>10 国は水産物の輸出を振興しているが，養殖する場所が少ない。</p> <p>11 水産業，農業ともに，飼料代等の高騰が大きな課題である。（再）</p> <p>12 北薩の漁業をどうするか。10年後，20年後の漁業をどうするか，議論を深めて欲しい。</p>
(1) 農林水産業の「稼ぐ力」の向上	ウ 販売対策と利用促進	<p>13 魅力ある農業となるには一定の収益が必要であり，そのようになってほしい。（再）</p> <p>14 コロナ禍で，飲食店の需要が減ったり，漁協関係の魚が余ったりなどと話を聞いている。世の中の状況に合わせながら，売り場や販路の確保が必要である。</p> <p>15 北薩は食の宝庫。今あるものを伸ばしつつ，新たなものを生産する考えを持つ必要がある。（再）</p>
(2) 観光の「稼ぐ力」の向上	ア 戦略的なPRの展開	16 北薩は食の宝庫。アピールしていかないといけない。
	イ 魅力ある観光地の形成	17 これからの先端技術が集積する産業観光地としての受け皿となる可能性がある。

項目		意見内容等
(2) 観光の「稼ぐ力」の向上	ウ 戦略的な誘客の展開	<p>18 西回り自動車道の整備が進み観光客等も増えてくるので、地域一体となったPRが必要である。</p> <p>19 北薩地域には、良いポテンシャルがあるのにアピールが良くないので、魅力発信を考える必要がある。</p> <p>20 県外から人を呼び込む取り組みとしてスポーツがある。色々なスポーツを通じて人を呼び込むということもやっていきたい。</p> <p>21 北薩地域は、新幹線、高速道路、空港アクセス等交通の便が良いので活用していく必要がある。</p>
(3) 企業の「稼ぐ力」の向上		<p>22 経営者の高齢化に伴う事業承継の方策や、移住者の確保策が必要である。</p> <p>23 レイナサッカーチームという女子サッカーチームがあり、なでしこを目指している。地元でサッカーを続けながら働いたりする人や移住する人も出てきている。</p> <p>24 県外から人を呼び込む取り組みとしてスポーツがある。色々なスポーツを通じて人を呼び込むということもやっていきたい。(再)</p>

3 脱炭素社会の実現

項目		意見内容等
(1) 脱炭素社会づくり		<p>1 火力、風力、原子力、太陽光、バイオマス、小水力など、いろんな種類のバリエーション豊富なエネルギーがあることは地域のポテンシャルである。</p> <p>2 北薩地域は、再生エネルギー等の豊富なエネルギー資源をどこまで書いていけるか。</p>
(2) 環境負荷の低減と自然と共生する地域社会づくり		<p>3 これからの先端技術が集積する産業観光地としての受け皿となる可能性がある。(再)</p>

4 地域を支える人材の育成・確保、文化・スポーツの振興

項目		意見内容等
(1) 地域全体で子どもの夢や希望を実現する教育環境づくり	ア 知・徳・体の調和のとれた教育の推進	<p>1 不登校の児童が平成29年から令和2年にかけて5倍になっている。ここ数年で増えたことが気になる。</p> <p>2 GIGAスクール構想やデジタル化などが進められていく中で、児童生徒に関わる教職員の資質向上をどう高めていくかが一番の大きな課題である。</p>
	イ 教職員の資質向上	<p>3 各学校も各市町の教育委員会のもと、授業改善や研修体制の改善に取り組まれている。点数だけで測れないものもあり、どのように改善していくかなど、大学も活用してほしい。</p> <p>4 この地域の強みとして、鹿児島純心女子大学があるので、大学をしっかり活用して欲しい。</p>

項目	意見内容等
(2) 地域の発展を牽引する人材の育成・確保	<p>5 雇用問題は地域の連携が大事であり、熊本に進出した企業などに地域の中小企業で育てた中堅職員が取られないような取組が必要である。</p> <p>6 隣接する市町の歴史等を勉強することが難しい。歴史に精通した方との勉強会等あれば、北薩地域の社会教育の充実が図られる。</p> <p>7 子どもたちがなぜ都会に出て行くかという、子どもたちが地域の良さを分かっていないからではないか。地域に良い会社があり、いいところがあることを知れば地元に残る。</p> <p>8 北薩に残ってもらう、鹿児島に残ってもらうには、UIJターンなど外からどんどん取っていかないといけないので、北薩全体で協力し合う必要がある。</p> <p>9 高校に出向き、建設業とはどんな仕事かを知ってもらい、職業の選択肢の一つにしてもらうための若手育成プロジェクトを実施している。</p> <p>10 外国人への支援として、住みやすいまちとなるよう外国人向けの案内資料を作成するなど、地域全体での取組が必要である。</p>
(3) 移住・交流の促進と関係人口の創出・拡大	<p>11 北薩に残ってもらう、鹿児島に残ってもらうには、UIJターンなど外からどんどん取っていかないといけないので、北薩全体で協力し合う必要がある。(再)</p> <p>12 リモートやのワーケーションなどが推進されているが、子どもがいる家庭が置き去りにされている。子どもの転入、転出手続きなど、親子で移住しやすい環境の整備が必要である。</p> <p>13 離島への移住が増加しているところを鑑みると、物が増えた時代になって、何も無いものへの欲求が高まっている。</p> <p>14 レイナサッカーチームという女子サッカーチームがあり、なでしこを目指している。地元でサッカーを続けながら働いたりする人や移住する人も出てきている。(再)</p> <p>15 県外から人を呼び込む取り組みとしてスポーツがある。色々なスポーツを通じて人を呼び込むということもやっていきたい。(再)</p>
(4) 働き方改革の推進	<p>16 出生数の減少に伴い保育所を減らしてしまうと、子どもを預かることが出来ない状況になるので、子育て世代が安心して子どもを預けられて、仕事出来るような仕組みが必要である。(再)</p>
(6) 「する・みる・ささえる」スポーツの振興	<p>17 レイナサッカーチームという女子サッカーチームがあり、なでしこを目指している。地元でサッカーを続けながら働いたりする人や移住する人も出てきている。(再)</p> <p>18 県外から人を呼び込む取り組みとしてスポーツがある。色々なスポーツを通じて人を呼び込むということもやっていきたい。(再)</p>

5 誰もが安心して暮らせる地域社会づくり

項目	意見内容等
(1) 安心・安全な生活の実現	<p>1 最近、災害が非常に激甚化している。自治体レベルよりも広域的なフォロー（住民の方への避難通知等）が必要である。</p> <p>2 新型コロナのまん延により、災害時に避難所へ行きづらくなるという課題も出てきた。広域的な避難の対応を考えていく必要がある。</p>
(2) 人やモノの交流を支える交通ネットワークの形成	<p>3 西回り自動車道の整備が進み観光客等も増えてくるので、地域一体となったPRが必要である。(再)</p> <p>4 川内港の港湾整備に合わせ、輸出に関する取組ももっと進めてもらいたい。</p>
(3) 個性豊かで魅力ある景観づくり	<p>5 北薩地域は再造林率が低く、山が切られ災害の恐れがあり、景観も良くない。(再)</p>